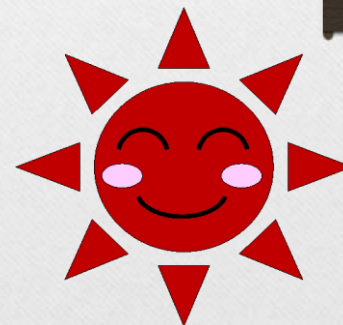


2020年度 第7回 保護者研修

サポートブック を作ってみよう

こども発達支援センターSun
2020年12月24日(木)



本日の予定

- 事務連絡
- 前回までの振り返り
- サポートブックとは
- ミニミニサポートブックを作ってみよう
→動画研修後に書いてみましょう



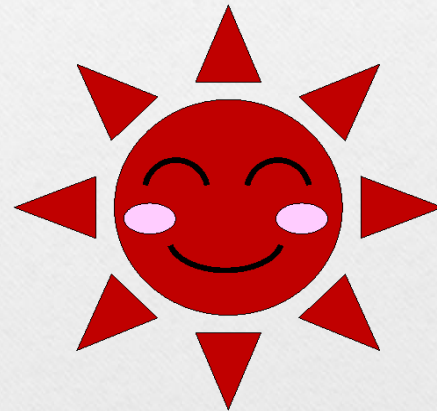
事務連絡

- 令和3年度療育児募集について
9市町村在住の方
定員64名
- 申し込み受付
12月7日（月）～1月19日（火）17時必着

決定通知発送は1月31日頃を予定しています。

*小学生の利用は8名までとさせていただきます。

前回までの振り返り

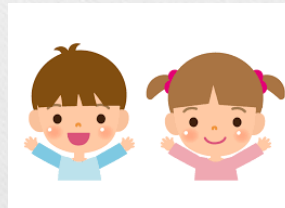
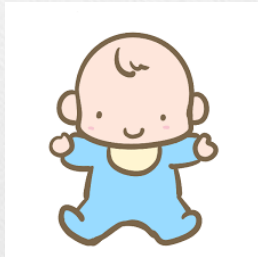


成長を支えるためのキーワード

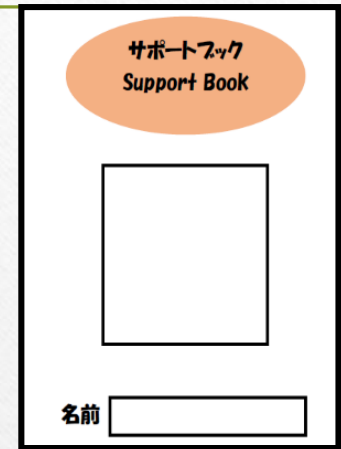
- 評価と目標設定
過大評価、過小評価にならないように
—スモールステップで取り組もう
- わかりやすいメッセージで伝える—構造化
視覚的な手がかりが有効
- 得意なところからアプローチ
「できた」「やってみよう」
- コミュニケーションの支援が大事
伝えたいことが伝えられるように
—色々な方法を広げよう



サポートブックとは



サポートブックとは



- 支援者に向けて子どもの行動やコミュニケーション、感覚などの特性とその対処法を項目ごとに分かりやすくまとめたもの
- 口頭では伝えきれない特性の多様さを文章で伝える方法
- 親の願いや希望を伝えるもの
- 共通理解をもとにして（短期・長期の）支援を考
えていく手がかりとなるもの

小学校へ入学

地域の小学校



支援学校

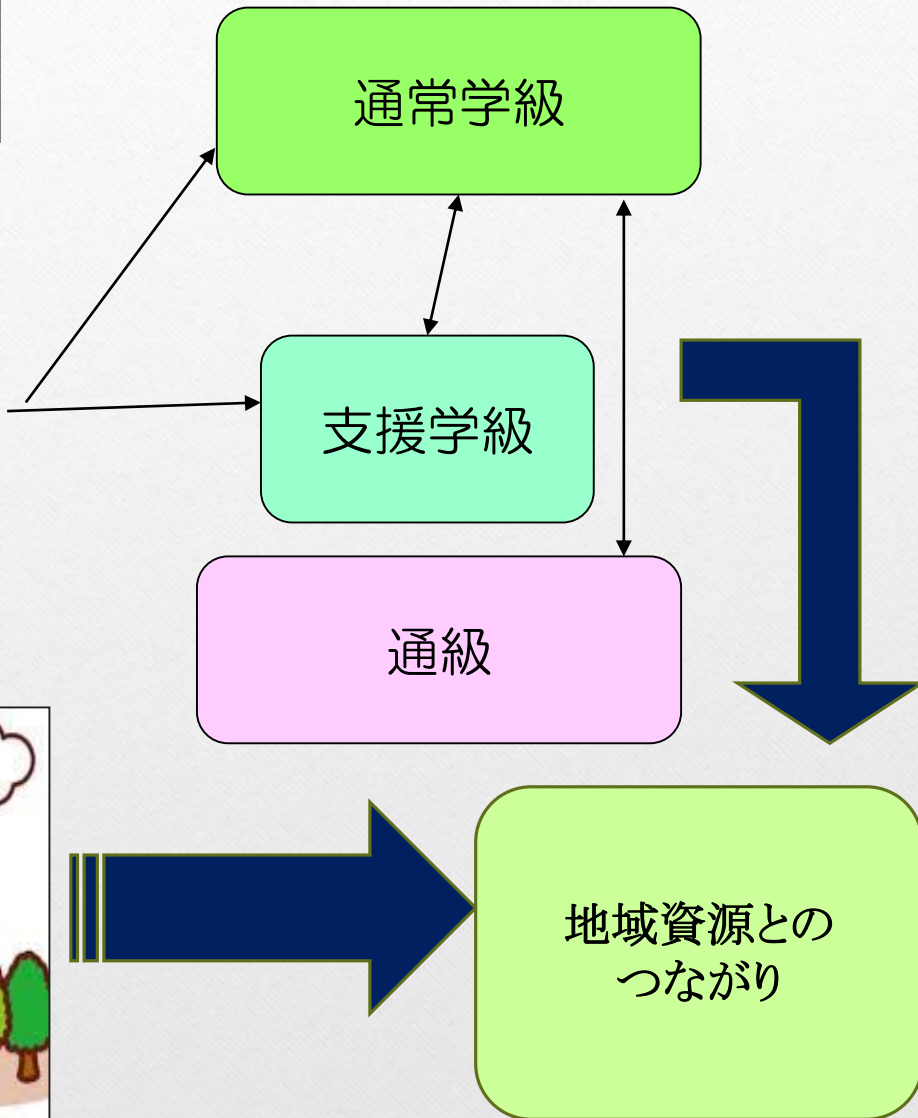


通常学級

支援学級

通級

地域資源との
つながり



サポートブックのメリット



- 家族が作ることで、家族でないと分からないことを記載し伝えられる
- こどもの情報が支援者と共有できる
- 情報共有されていることで、こどもが安心・安定した生活を送れる→場所が変わっても、人が変わっても一貫した支援になるように

メリット その②

- 初めて会う人も、こどもの情報を正確に、短時間で知ることができる
- こどものさまざまな情報が大切な思い出として残せる。

その他の場面でも・・・

ガイドヘルパー、遠足、お泊り保育、運動会等

作り方のポイント



- 読む人の立場になって作成する
- 書きやすい項目、相手に伝えたい項目から記入する
- 成長に合わせて見直す
- 診断書や検査結果、個別支援計画書など、支援内容がわかるものもとじる
- 園や小学校での様子など、わからない内容は先生や支援者に相談する

ミニミニサポートブックを つくってみよう



サポートブックは、次回の療育の時に
持ってきてください！

ミニミニサポートブック

お子さんの
愛称

ミニミニサポートブック

医療機関
サポートカード

名 前	
愛 称	
年 齢	
性 別	
血 液 型	
緊急連絡先	

写真

ミニミニサポートブック

コミュニケーションの仕方 (本人→他者)

要求(～がほしい)
注意喚起
拒否「いや」
誰に など

コミュニケーションの仕方 (他者→本人)

ことばの理解
具体物・イラスト
文字の理解 など

好きな遊び、得意なこと

公園・おもちゃ
キャラクター
電車・虫・・・

嫌いな遊び、苦手なこと

大きな音
暗いところ
粘土・工作
初ての場所・活動

ミニミニサポートブック

身体自立

例：排泄、着替え、歯磨き、介助方法など

排泄、着替え、歯磨き、介助方法 など

食事について

例：好きなものと嫌いなもの、
アレルギーマークの介助といった必要に応じて

好きなもの、嫌いな物
食事時の介助 など

その他（伝えておきたいこと）

例：予定の伝え方、薬の服用、こだわりや気になること、困った時の対応など

予定の伝え方、薬の服用、こだわりや気になること、困った時の対応 など

〇〇さんのオリジナルの サポートブックをつくりましょう



サポートブック
Support Book

名前

記入例

おとさんの
名前 (住所
サポートコード)

ミニミニサポートブック

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">名 前</td><td style="width: 100px;"></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">愛 称</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">年 齢</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">性 別</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">血 液 型</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">緊急連絡先</td><td></td></tr> </table>	名 前		愛 称		年 齢		性 別		血 液 型		緊急連絡先		写真
名 前													
愛 称													
年 齢													
性 別													
血 液 型													
緊急連絡先													

↓

<p>コミュニケーションの仕方 (本人・他者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要求への反応、～をしてほしい ・生活時間 通りにする必要がある ・話 内容の理解、人の要求を拒否すること <p>例 おかあさんが、お茶を、お茶を飲ませてくれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的支援が必要である場合で伝えること ・視覚的支援は、サインボードなどで伝えること 	<p>コミュニケーションの仕方 (他者・本人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味や、ことばの物まどくを、興味・イラスト・文字の理解、声に・・・など 例 ・外出する場所、服装や髪型を伝えること ・「トイレに行って、お茶を飲んで、お茶を飲む」ということで伝えるより、一コマイラストで理解すること
<p>好きな遊び、得意なこと</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園 ・お茶を、お茶、お茶 ・電車、車 ・お茶を、お茶を、お茶を ・お茶を 	<p>嫌いな遊び、苦手なこと</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶を、お茶を ・お茶を、お茶を、お茶を ・お茶を、お茶を、お茶を
<p>食生活</p> <p>例：お茶、お茶、お茶、お茶</p>	<p>服装について</p> <p>例：お茶、お茶、お茶、お茶</p>
<p>その他 (伝えておきたいこと)</p> <p>例：お茶、お茶、お茶、お茶、お茶、お茶、お茶、お茶</p>	

まとめ



- サポートブックはメンテナンスが必要です。

少なくとも1年に1回、状況が変わればすぐに書き換え、書き加えをしてください。

18歳以上の生活では小さい頃の情報がとても貴重になります。



ご視聴ありがとうございました

こども発達支援センターSun

